

ジェニイの肖像 (1947)

PORTRAIT OF JENNIE

メディア 映画

ジャンル ロマンс ファンタジー

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 86分

初公開日 1951/07/03

公開情報 東宝

【解説】

貧乏画家のアダムス（コットン）はセントラルパークで不思議な美しい少女と出会う。娘の名はジェニイ（ジョーンズ）。彼女を描いた素描は画商の評判もよく、アダムスにもようやく芽が出たようだった。そして、再会した彼女の肖像画を描く約束をした彼だが、作成途中で彼女は姿を消し、そのまま完成させた絵は画壇の絶賛を浴びる。失踪した彼女を捜して、彼は彼女がいたというニュー・イングランドの修道院を訪れる。が、とうの昔に、その地帯を襲った津波に吞まれ、少女は死んでいるーと言われる。面影を求めて現場付近の海にボートで漕ぎ出すアダムスを急な嵐が襲い、その中でジェニイのボートの近づくのを見た彼は、懸命に彼女を助け上げようとするが、共に波にさらわれて意識を失う。そして目覚めた時、誰もがジェニイの存在自体を否定するのだった。彼女はアダムスだけの見た幻なのか。大プロデューサー、セルズニックが妻ジョーンズのために製作した意欲的な大作ロマン。ラスト、映し出される肖像画のみがカラーだったり、津波シーンをワイドで上映したりと、実験精神に溢れており、監督は重厚なヨーロッパ的ロマンを得意としたディターレだが、恐らくは他のセルズニック作品同様、これらは製作者自身のビジョンの具現化だろう。ジョーンズの神秘的美しさは他に類を見ない、ハリウッド幻想譚の極致。

【クレジット】

監督	ウィリアム・ディターレ	William Dieterle	
製作	デヴィッド・O・セルズニック	David O. Selznick	
原作	ロバート・ネイサン	Robert Nathan	
脚本	ポール・オズボーン	Paul Osborn	
	ピーター・バーネイズ	Peter Berneis	
	レオナルド・ベルコヴィッチ	Leonardo Bercovici	
撮影	ジョセフ・オーガスト	Joseph August	
音楽監督	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin	
作曲	ディミトリ・ティオムキン	Dimitri Tiomkin	
出演	ジョセフ・コットン	Joseph Cotten	イーベン・アダムス
	ジェニファー・ジョーンズ	Jennifer Jones	ジェニイ・アップルトン
	リリアン・ギッシュ	Lillian Gish	慈悲の母マリア
	エセル・バリモア	Ethel Barrymore	ミス・スピニー
	セシル・ケラウェイ	Cecil Kellaway	マシューズ
	アルバート・シャープ	Albert Sharpe	ムーア
	デヴィッド・ウェイン	David Wayne	ガス・オトゥール
	ヘンリー・ハル	Henry Hull	エーク
	フローレンス・ベイツ	Florence Bates	ジェイクス夫人

フェリックス・ブレサート	Felix Bressart	ピート	
クレム・ビヴァンス	Clem Bevans	コップ	
モード・シモンズ	Maude Simmons	クララ・モーガン	
アン・フランシス	Anne Francis		(クレジットなし)
ブライアン・キース	Brian Keith		(クレジットなし)
ナンシー・オルソン	Nancy Olson		(クレジットなし)